

業平の母の住給ふ在所は長岡といふ所と伊勢物語になん侍りける。其所は小塩のかたはら上羽といふ里なりけり。ゆきき  
する人びとは尾花が袖萩の花妻をかかけて此所に立寄り、むかしを感じ懐旧の和歌をよみてすぎ行もおほかりき。